

名古屋三河道路有識者委員会
第1回

1. 日時 令和4年12月14日(水) 16:00~17:30
2. 場所 愛知県庁本庁6階 正庁
3. 出席委員[敬称略 50音順(委員長を除く)、○はオンライン参加]
- | | | |
|-------|------|------------------------|
| なかむら | ひでき | 名古屋大学大学院環境学研究科 教授(委員長) |
| 中村 | 英樹 | |
| おかだ | やすあき | 名城大学大学院理工学研究科 教授 |
| ○岡田 | 恭明 | |
| かとう | よしと | 岐阜大学工学部 客員教授 |
| 加藤 | 義人 | |
| くらうち | ふみたか | 岐阜大学大学院工学研究科 教授 |
| 倉内 | 文孝 | |
| くりはら | だいすけ | 一般社団法人中部経済連合会 常務理事 |
| 栗原 | 大介 | |
| さとう | くみ | 名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授 |
| ○佐藤 | 久美 | |
| すずき | こうじ | 名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授 |
| 鈴木 | 弘司 | |
| みちばやし | かつよし | 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 |
| ○道林 | 克禎 | |
| やまだ | えり | 名古屋市立大学大学院経済学研究科 講師 |
| ○山田 | 恵里 | |
- (欠席)
- | | | |
|-----|----|------------------|
| みずお | えり | 名城大学大学院人間学研究科 教授 |
| 水尾 | 衣里 | |

議事概要※

委員会の規約について

○規約について承認。

議事

<委員会の役割について>

○委員会の役割について了解された。

<第1回構想段階評価>

◆地域の状況、道路交通の現状と課題、政策目標(案)

○EVなどの普及により、自動車産業と電気機械産業との結びつきが強くなっており、関西方面との物流が増えている。より広域の視点から物流への影響を検討すべき。

○物流の改善が沿線の就業人口の拡大につながると思われる。

- モノづくりが強いにも関わらず、高規格道路から離れた地域であり、名古屋三河道路による物流の効率化などの効果が高いと思われる。
- 中部国際空港は3大国際空港の中で唯一環状道路に接続しておらず、（名古屋三河道路により）広域的なアクセス性の向上が図られ、拠点性が高まるとと思われる。
- 当該地域における通過交通と一般交通の機能分担などを整理すべき。
- 渋滞や交通事故の状況について、当該地域が他地域と比べて課題があることを分かりやすくすべき。
- 伊勢湾岸自動車道より海側に計画されている名古屋三河道路について、災害時のリダンタンシーとすることは疑問である。
- 洪水も重要な課題であるので、「地域の状況」以外でも記載すべき。

◆地域からの意見聴取（案）

- アンケート票の設問は、要点を絞って簡潔にすべき。
- 設問の回答に「分からない」を加えても良いのではないか。
- 今後、ルートや構造などの検討にも反映することができるようなアンケート内容としてはどうか。
- 意見聴取にあたっては、色々な媒体で発信すべき。
- 外国人含め多くの利用者から意見をいただけるよう工夫すべき。
- 名古屋三河道路がどのエリアを通る計画なのか、正しく理解してもらえるよう、表現方法などを工夫すべき。
- アンケート票に同封するチラシについて、一般の方にも分かりやすい表現となるよう配慮すべき。

【事務局より】

- ・頂いた意見等を踏まえ、検討を進めるとともに、意見聴取を行っていく。
- ・資料を修正した場合は、次回の委員会などで説明する。

（※欠席の委員については、個別にヒアリングを実施）